

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

その11 日立市立大沼小学校



大沼小の理科室のおじさん・後藤 忠さんは、パソコンに堪能で、かつてパソコンサポーターとして、塙山小学校に勤務していました。その当時、私も塙山小学校に赴任していましたので、情報教育において、後藤さんの力をお借りしたことをよく覚えています。今、震災のため水木小学校の3年生がそっくり移動して来ていて大沼小学校の校舎で勉強しています。理科室は、半地下の場所に位置しています。耐震化で、校舎をリフォームしたため、全体的に明るい色合いの環境で、廊下も広いスペースになっています。そのスペースを活用して、「おおぬま・わくわく科学館」が設置してあります。

秋田出身の後藤さんは、小・中学校時代に鉱石ラジオ作りに夢中になった科学大好き少年でした。また、アマチュア無線にも興味を示し、高校時代には、そのライセンスを取得し、会社に勤務するようになってから、アマチュア無線の開局を行い、数多くの国々や地域の人々と無線を通して交流をしてきました。南極や南米のチリなど、遠い国の人たちとの交流は、とても胸がわくわくし、時間を忘れて通信したそうです。

訪問したときは、高学年の理科の授業のお手伝いということで、実験の準備などにいそしんでいました。これからは、「わくわく科学館」の展 **子どもたちの人気NO.1の展示品** 示を広げるため、「今まででストックしてきた岩石のプレート作りを行って岩石の標本展示をしてみたいですね。」と、抱負を述べていました。

わくわくかがくかん



現役時代は、日立研究所に勤務し、原子力発電の高速増殖炉の開発に関わり、電気エネルギーの発展に尽力をしていました。奥様と同じ趣味を持つということで、社交ダンスを行っているそうですが、「現在は、趣味を超え、ダンスの指導員という立場になってしまいました。」と、笑みを浮かべてお話をしていました。

— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一